

都市構造可視化ツールの活用

～大間々の都市構造分析～



群馬県 みどり市 都市計画課

1. みどり市の現況

みどり市の概要

みどり市の地形と特徴

- ・群馬県の東部に位置し、総面積は208.42km²となります。市域は桐生市、栃木県日光市を始め、群馬、栃木両県の7市と接しており、首都東京からは100km圏内になります。

- ・地形は南北に長く、北部には足尾山地が連なり、その山塊に源をもつ渡良瀬川が市の北東から南東にかけて流れています。東町地区の主な地域はこの渡良瀬川に沿うように形成されていて、上流部には草木ダムが豊富な水をたたえ、首都圏に水を供給する役割を担っています。



2.目的

目的と指標

目的

- ・みどり市内に働き場がない、ベットタウン化しているという感覚的な意見は本当なのか検証

指標

- 指標①小売業年間販売額
生活の中心（買い物を中心）はどこか？
- 指標②夜間人口密度、昼夜間人口比率
日中も市内で過ごす人はどの程度か？
- 指標③全産業従業者数
従業者数はどのくらいか？

3.小売業

小売業販売額の推移

1994年



補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用

商店街が栄えていた
大間々が小売業の中心

2007年



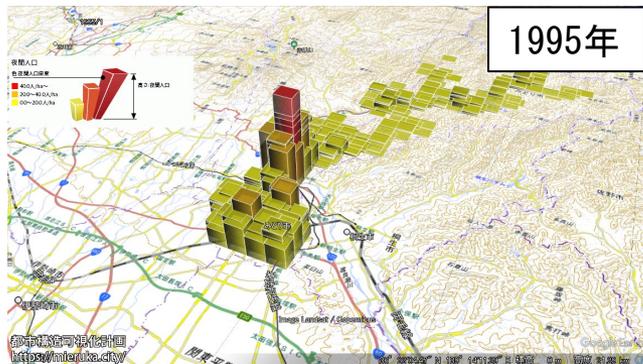
補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用

市南部の笠懸エリア
に住宅地が増加し、
南部を通過する国道
沿いにスーパー等が
増加

4.人口

夜間人口の推移

○夜間人口密度



補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用

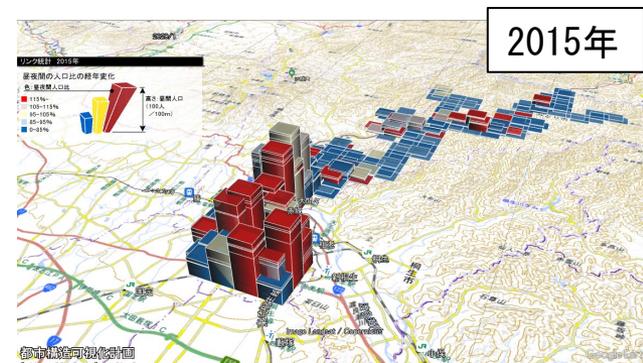


補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用

○昼夜間人口比



補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用



補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用

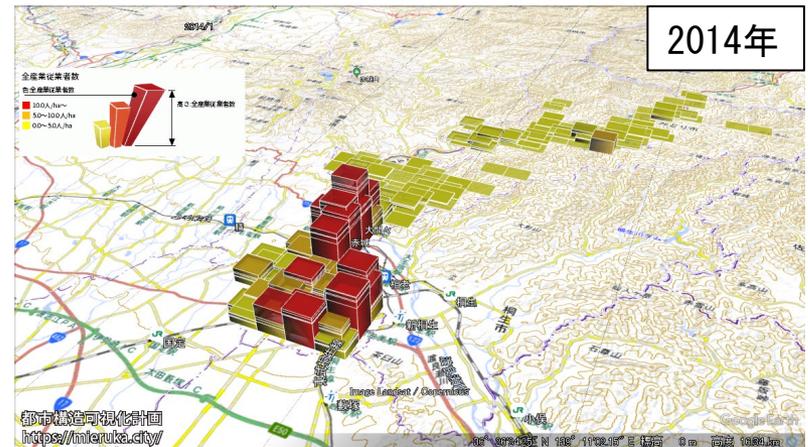
南部の新興住宅地を中心に夜間人口の割合は増加

5. 従業者数

全産業従業者数の推移



補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用



補注:都市構造可視化計画、地理院地図を使用

就業者数は、夜間人口と同様に市南部で増加している



市内の産業が発達しておらず、周りの市町村のベッドタウン化が進んでいる

6. まとめ

感想と今後の活用方法

感想

- 人口減少、ベッタウン化などの仮説を検証することができた。
- 都市構造可視化ツールの活用は、新たな発見や具体的にイメージすることが可能になり、様々な場面で活用できる

今後の活用

- 現在進めている官民共創によるまちづくりデザインに向けた提供資料
- 地域の課題解決のためのツールとする

